

平成 28 年度 稲生高等学校マネジメントシート

1. 教育方針

(1) 校訓

『学べ 鍛えよ 直向きに』

2. 学校経営

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	知・徳・体の調和がとれた『社会に役立つ人材』を育成する学校	
(2)	育みたい 児童生徒像	<p>○自分自身を見つめ直し、新たな能力、適性を発見する。そして、自らの資質に磨きをかけるために、何事にも精一杯挑戦し、成長する生徒。</p> <p>○基本的生活習慣を身につけ、社会のルールやマナーを守り、地域から信頼される生徒。</p> <p>○部活動や生徒会活動、学校行事などに積極的に参加し、人と関わる機会を多く持つことを楽しみ、コミュニケーション能力の質が高い生徒。</p>
	ありたい 教職員像	<p>○目指す学校像の実現のために、一人ひとりの生徒の適性、能力に応じた学習指導や生徒指導に情熱を持って粘り強く指導できる教職員。</p> <p>○風通しの良い学校風土と、教職員相互の対話により、学校や生徒の課題を共有し、一致団結して課題解決を図ることができる教職員。</p> <p>○自らの教育力の向上のために、ベンチマーキングや研修会等に参加し、教育活動により意欲的に取り組めることができる教職員。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 安心で快適な学習環境の中で、基礎学力の定着と希望進路の実現。 学校行事や部活動の充実。</p> <p><保護者> わかりやすい授業による学力の向上と希望進路の実現。自己教育力と規範意識の醸成。部活動の活性化。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><保護者> 生徒や学校の現状の適切な情報提供。</p> <p><中学校> 卒業生や学校の現状の情報提供</p> <p><地域住民> 開かれた学校。地域活動への参加と協力。 地域に貢献できる人材の育成。</p>	<p><保護者> 本校教育活動への理解と参画。親と子のコミュニケーション。</p> <p><中学校> 効果的な指導のための情報共有と緊密な連携。</p> <p><地域住民> 本校教育活動への理解と協力（清掃活動、部活動）。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の挨拶やマナーは、以前と比較して良くなっており、地域から見ても落ち着いてきたのがわかる。 ・政治的教養を育成する取組をもっと進めるべきである。 ・学校経営の取組指標とともに適切な成果目標を示し、継続的に検証していく必要がある。 ・生徒と地域社会の交流を通して、もっと社会性の成長につながるよう取り組む必要がある。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活に自信や目的意識が持てない生徒も見受けられることから、一人ひとりの自己肯定感を育み、学習意欲を高め、基礎学力の向上を図るような授業改善等を行うことが必要である。 ・教育活動すべてにおいて、基本的生活習慣や規範意識の醸成を図り、人権を尊重する心を育む必要がある。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の家庭環境や特性に応じた、学習指導や生徒指導をよりきめ細やかに行うために、組織体制や教職員の指導力向上に計画的、継続的に取り組む必要がある。 ・学校の現状や生徒の近況を、絶えず保護者や地域に情報発信することで、情報共有を図り、理解・協力・支援を受けるよう取り組む必要がある。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が3つの学科・コースに応じた学習内容を十分に理解し、学力の向上や資格取得を目指すことで、学習意欲、学習習慣が高まるような取組を進める。 ・キャリア教育をはじめとした進路指導の充実により、希望進路の実現と定着を図る。 ・正しい倫理観や道徳観を身につけ、他者を思いやり、人権を尊重する意欲や態度を育成するとともに、社会人としての政治的教養の育成に取り組む。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色化を図るために、一人ひとりの生徒の能力・適性に応じた教育課程の見直しや公開授業や授業研究を行い等の授業改善を進める。 ・地域社会や保護者のニーズに答えるために、地域に貢献できる取組や教育活動の改善を進める。 ・教職員がより意欲的に教育活動に専念できるよう、会議の精選、効率化を図るとともに、過重労働の削減等に取り組む。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	備考
基礎学力の定着	学習意欲につながる基礎学力トレーニングの取組 【活動指標】年間20回以上 【成果指標】漢字検定合格率60%以上 学習習慣の定着	◎
資格取得の促進	就職、進学に対応できる、情報コース生徒の商業・情報関係資格取得（情報処理、ビジネス文書実務、珠算・電卓検定） 【活動指標】各種検定合格率アップ 【成果指標】資格活用による進路実現	
体育科の活性化	体育を通じた人づくりを進めるため、市内小学生を対象とした体育科生徒による指導実習 【活動指標】小学校訪問3校以上 【成果指標】小学生及び体育科生徒の満足度80%以上	
キャリア教育の充実と進路実現	(1) 2年生におけるインターンシップの実施 【活動指標】参加生徒の割合30% 【成果指標】参加生徒の満足度80% (2) 進路ガイダンス、個別面談指導の実施 【活動指標】年間3回以上 【成果指標】希望進路実現100%	※
基本的な生活習慣や規範意識の醸成	全校集会、学年集会での訓話や全教職員による指導の徹底 【活動指標】各学期2回の訓話、月1回頭髪服装指導 【成果指標】学校遅刻、授業遅刻の10%減少 指導件数の減少10%	※
政治的教養の育成	講話、模擬投票の実施やLHR等での適切な指導 【活動指標】3年生 年間2回、1,2年生 年間1回 【成果指標】政治の仕組み理解と選挙参加の促進	
人権意識の育成	人権を尊重する意識の向上と道徳観の育成 【活動指標】人権デーの実施、総合的な学習の時間の活用年間3回以上 【成果指標】人権問題やいじめ事案の発生0件	
部活動の活性化	運動部、文化部の活動の奨励 【成果指標】県内大会入賞者数増加、全国・東海大会出場者増加、県総体総合20位以内、	※

(2) 学校運営等

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	備考
学校の新たな特色化	教育課程の見直しを図るため、校内検討委員会を設置し、検討 【活動指標】関係機関・団体との連携調整 【成果指標】平成29年度入学生より見直し	※
授業力の向上	授業公開や研究授業の実施による授業改善 【活動指標】授業公開週間年1回、教員による授業見学年2回 【成果指標】授業満足度80%以上	◎
情報発信による地域、保護者との連携促進	学校ホームページやフェイスブック、きずなネットの活用による情報発信 【活動指標】随時、迅速に発信 【成果指標】地域住民や保護者の学校理解度が高まる	※
教職員のチームワークの向上	会議の精選など校内組織や制度の改革改善や過重労働の削減 【活動指標】オフサイトミーティングの実施、教職員との面談年間3回以上 【成果指標】教職員のやりがい感や満足度が高まる	

(3) 各学年、各分掌が目指す理想とする状態

各学年・分掌	教育活動面（生徒対象）	学校運営面（教職員・施設対象）
体育科	○質の高いコミュニケーションができる ○キッチンと整理整頓ができる ○積極的な行動ができる	○情報の発信 ○部活動の活性化 ○部活動の競技力向上
普通科	○各類型の学習を通じた進路実現 ○各類型の授業を通じた「育みたい児童生徒像」の実現	○各類型の教育目標が明確に示されている。 ○各類型で出口を意識した授業内容が展開されている
情報コース	○何事においても向上心を持って取り組む姿勢がみられる ○ルール・マナーが守れる ○場面に応じた自己表現ができる	○生徒個々に応じたきめ細かい指導 ○商業科・情報科教員間の情報共有 ○研修会の校内共有
1学年	○基本的な生活習慣を身につけ、高校生らしくさわやかな態度、行動ができるようになる ○自分が夢中になれるものを見つけ、高校生活を充実したものにする ○基本的な学力が身に付いている ○社会で通用するコミュニケーション能力を身につけている	○教室、廊下、トイレをきれいに使用させる ○学校だけでなく、保護者、中学校、地域と連携し子どもたちの指導の協力体制ができている
2学年	○自分の進路が明確になっている ○社会のマナー・ルールに応じた行動ができる ○自分自身を常に正しい状態にできる ○授業以外の学校生活の充実を図る。	○個々に応じた学習支援を行う ○教員間の意思疎通を図る ○個々の教員の件を広める
3学年	○三年間の集大成として悔いのない高校生活を送る ○社会で通用する挨拶・礼儀・マナーが身に付いている ○『いつでも面接を受けることができる身だしなみ』である。	○全員が第一志望の進路を実現させる ○教室・廊下・トイレをキレイに使用させる

各学年・分掌	教育活動面（生徒対象）	学校運営面（教職員・施設対象）
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ○時間管理意識が確立している ○自己表現力やコミュニケーション能力がある ○部活動、生徒会活動が活発である 	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある稲生高校の周知 ○各媒体を利用した地域、保護者への情報発信
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ○授業を受ける姿勢ができています ○授業に参加する姿勢ができています ○授業を振り返る習慣がみについている ○学習成果の目標を設定する 	<ul style="list-style-type: none"> ○公文書の適切な管理と運営 ○個人情報の適切な管理 ○観点別評価による適切な評価 ○自らの教育力・授業力を高める姿勢 ○地域・生徒のニーズ、学校像に即した教育課程の作成
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ○3年生 就職・・・就職希望者の内定率100% 選考試験一次の合格率70%以上 進学・・・進学希望者の合格100% ○2年生 将来を見据え、自らの適性を考えて方向性を決定する ○1年生 基礎学力の向上、進路について考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年生 就職・・・希望職種での就職斡旋をし、離職率を低下させる 進学・・・進学後の就職まで見据えた進路選択指導を行う ○2年生 進路の方向性を考えさせる ○1年生 基礎学力の向上、進路について考える
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ○自発的に挨拶ができる ○制服の正しい着こなしができる ○授業規律を厳守することができる ○ルールブックを活用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○スムーズな情報の共有ができる ○安心安全な学校を維持する ○授業規律の厳守 ○活気ある学校づくり
図書部	<ul style="list-style-type: none"> ○読書の楽しさを知る ○積極的に活動する図書委員会 ○利用のルールを守る 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校行事に積極的に参加する ○文化の発信センター ○教育活動に必要な資料を提供する ○視聴覚教室の利用頻度を上げるとともに管理を徹底する。
保健環境部	<ul style="list-style-type: none"> ○入退室のマナーが守れる ○基本的な生活習慣を身につけ、自分の健康に関心を持ち、健康を守る能力を養う ○保健室は休憩時間に利用する ○掃除を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○SC・SSWなど専門家からの助言や情報を関係職員と共有する。